早期肺癌に対する陽子線治療もしくは動体追跡定位放射線治療を
受けられた方へのお知らせ
～拒否機会の保障（オプトアウト）の開示について～

近年、肺癌は男性および女性ともに増加傾向にあります。切除可能な状況であれば外科的治療がもっとも根治性の高い治療と考えられていますが、早期肺癌でも手術が困難な場合や患者本人が手術を拒否されるような場合には、放射線治療や粒子線治療が有効な手段として認識されています。これまでに早期肺癌に対する体幹部定位放射線治療と陽子線治療の成績において明らかな有意差は示されておりません。当院では、早期肺癌に対して動体追跡放射線治療（RTRT）と陽子線治療が可能です。早期肺癌における照射線量や手法は施設によりさまざまであり、これまで報告されている治療成績と当院の治療成績が一致しているとは限りません。そこで、今回、当院で行った一連の早期肺癌の治療成績を遡及的に検討し、当院における局所制御率および無遠隔転移生存率、全生存率がこれまでの報告と相違ないか比較検討します。

研究に使用するデータは、個人情報情報を匿名化した後に使用するため、個人情報情報が外部に漏れることはありませんが、この研究に「自分のデータを使ってほしくない」と思われる場合には申し出が可能です。また、「研究」や「オプトアウト」に関し質問がある場合は本研究担当者までご連絡ください。

【研究課題名】

当院における早期肺癌に対する動体追跡定位放射線治療と陽子線治療の遡及的検討

【研究の目的】

当院における局所制御率および無遠隔転移生存率、全生存率がこれまでの報告と相違ないか比較検討します。

【研究の対象】

これまでに早期肺癌に対して福井県立病院で動体追跡定位放射線治療もしくは陽子線治療を施行された患者

【研究に使用する情報】

対象の治療を受けられた方の匿名化された CT 画像データと病巣部・臓器の輪郭情報
線量分布図および DVH、治療後の経過（電子カルテ）

【研究成果の公表】

学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表

【共同研究機関】

なし

【個人情報の取扱い】

対象の治療を受けられた方の CT 画像データと病巣部・臓器の輪郭情報を匿名化し、個人を特定する情報（お名前、ID、住所等）を含まず、個人が特定できないような形で使用します。

【お問い合わせ等の連絡先】

研究責任者 : 福井県立病院 陽子線がん治療センター 医長 建部 仁志

お問合せ窓口 : 福井県立病院 倫理委員会事務局

(電話番号) 0776-54-5151 (内線2043, 2047)

(メールアドレス) kenbyo-rinri@pref.fukui.lg.jp